

あなたと、ともに

## 友田たもつ

県政レポート(Vol.32)

Vol.32 25-3月

編集・発行

友田たもつ事務所

〒750-0018

下関市豊前田町1丁目7番7号

TEL.083-231-8080

FAX.083-233-9250

●メールアドレス●

tomodatamotu@viola.ocn.ne.jp



ごあいさつ

山口県議会議員  
自由民主党山口県支部連合会幹事長

友田たもつ

令和7年度の県政レポートを皆様方にお届けいたします。

今年自身も選挙も終わり、2年目の年に入りました。現在、自由民主党山口県支部連合会の幹事長として、国政各市町の首長選挙等々山口県でおこなわれている選挙にかかわっており、大変多忙な毎日を送っています。

また、支部連合会の全体の運営として山口県庁との連絡調整、県連セミナーの開催、政務調査活動と多岐にわたり汗を流して居るところであります。

令和7年度の前算も先日発表されました。山口県の最大の課題は少子化です。昨年度の山口県での子供の出生数は、7000人を割り込みました。国全体の出生数の低下は、将来の労働力の不足だけではなく、国自体の存続の危機を迎えることとなります。しかし、現在、国としても、山口県としても、これといった有効な施策がありません。幼児教育の無償化などに取り組みでき、どの様な施策が若い人達に評価されていくのかも、より深く調査をしていかなくてはならないと思っています。

インフラの整備された街、社会全体で子育てを充実できる街など、取り組んでいかなければならない課題は山積みです。今後とも課題の解決に取り組んでまいります。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



県外視察(沖縄県庁)



県外視察(熊本県庁)



県外視察(北海道 北日本スカイテック)



県内視察(周南公立大学)



脱炭素 阿達総務副大臣への要請



農業農村整備事業現地視察

# 下関北九州道路の実現に向け 着々と前進

下関市と北九州市を結ぶ3本目の道路「下関北九州道路(下北道路)」は、彦島迫町の旧彦島有料道路と小倉北区西港町の都市高速を結ぶ延長約8km、4車線の道路であり、関門地域の発展に不可欠な基盤です。

平成29年の調査再開以降、国・県市で様々な検討が進められており、現在は都市計画と環境影響評価の続きが行われています。

この中で、下北道路のルート案や関門海峡を跨ぐ橋梁の案が明らかになってきました。また、下北道路から下関市街地にアクセスする道路の計画も示されました。

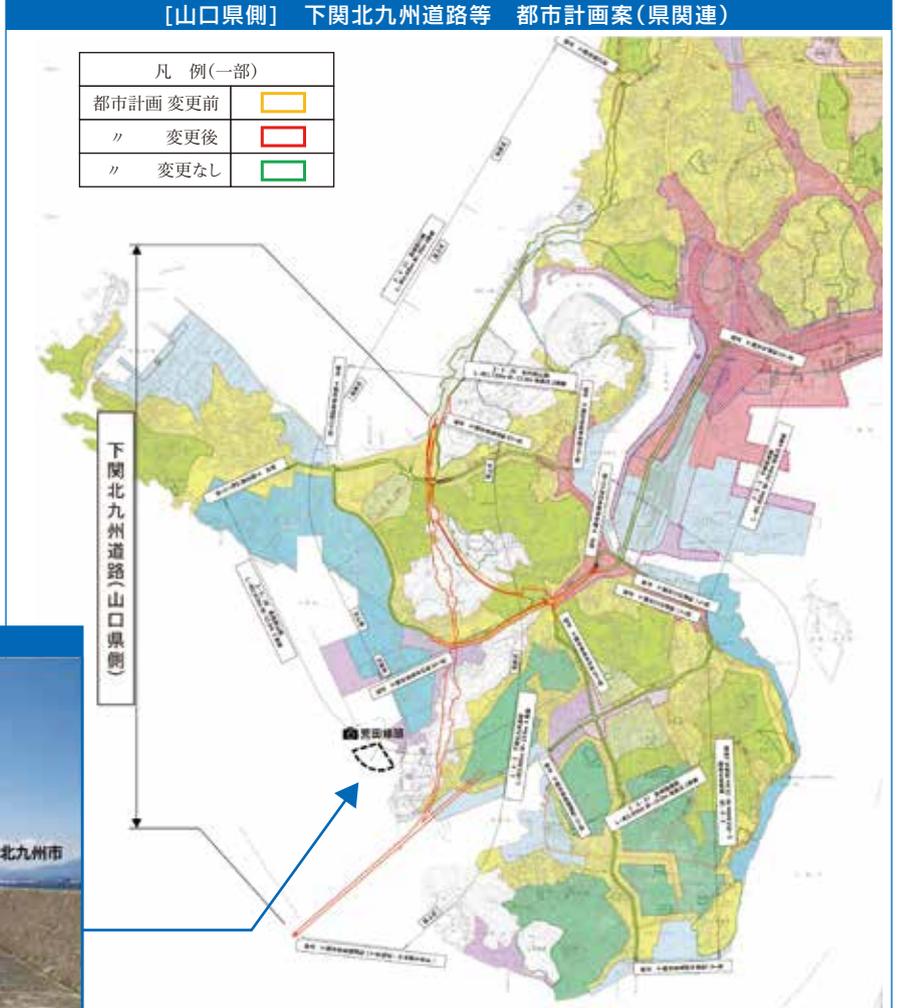
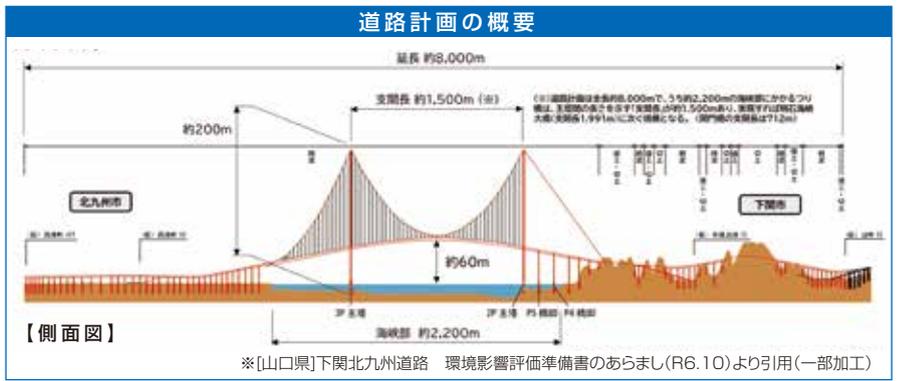
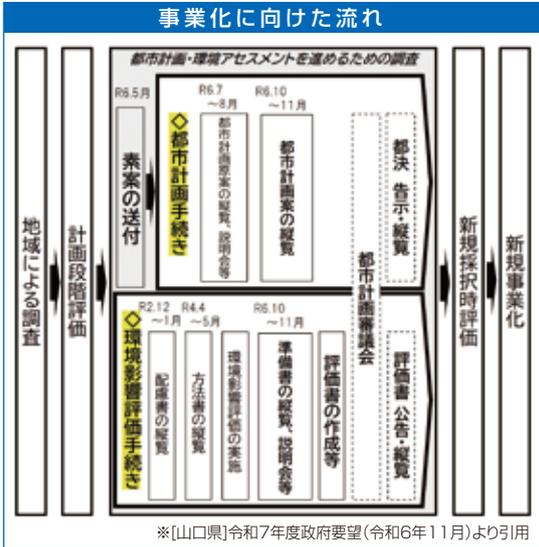
彦島には2か所のインターチェンジ(IC)が設置され、荒田付近で小倉方面との行き来ができる(仮)南風泊港ICから下関駅方面の県道は4車線化される計画です。

また、迫町付近で金比羅方面との行き来ができる(仮)迫町ICから、旧彦島有料道路を経由して東駅方面や下関北バイパスに直結する計画となっています。

これらにより、交通の円滑化や安全性が向上し、市民生活の利便性向上や産業活動の効率化が期待されます。

また、海峡を跨ぐ橋梁は、関門橋と同様に吊り橋構造で全長は約3倍あり、国内では2番目の規模であることから、関門海峡の新たな観光資源となることが期待されます。

今後は、一口も早い実現に向けて、引き続き取り組んで参ります。



※[山口県]下関北九州道路 環境影響評価準備書のあらまし(R6.10)より引用(一部加工)

※[山口県]下関北九州道路等 都市計画案縦覧資料より引用(一部加工)